

第2部：講演会〈同級生W講演&対談〉

“女性起業家”と“海外企業戦士”のちょっと熱い話。

東南アジアでのビジネスと水戸一高から学んだこと ～日本・茨城の地域活性化に向けて～

平成3年卒の中でもとりわけ、海外で活躍中の逞しい二人によるW講演&対談。二人ともカンボジアやタイと、長年にわたり東南アジアを拠点に、責任者としてビジネスを展開しており、ビジネスを通じて東南アジアの雇用やライフスタイル、経済に貢献しています。その醍醐味や苦労話、また今後の日本(主に茨城/水戸)への、東南アジアの人材を通じた地域活性化への提言など、裏話も含め、他ではなかなか聞けない、若者にも、社会の現役世代にも、生涯現役の方々にも、刺激のある話をしてもらう予定です。

また二人の類いまれな行動力やその考え方に影響を与えているに違いない、当時の水戸一高での生活も振り返ってもらい、水戸一高の根底に流れる考えや思い、卒業生としての誇りを探り、確認します。



加藤敦美 × 吉成祐輔

〈水戸一高 平成3年卒〉

株式会社アツミアンドカンパニー代表取締役CEO。
日本女子大学家政学部住居学科、早稲田大学大学院ファイナンス研究科(MBA)卒業。高校時代はラグビー部マネージャーとして、合宿や試合時の部員の胃袋をケアする。
不動産系シンクタンク、ソフトバンク、ベンチャー企業(創立5年でマザーズ上場)取締役、カジタク取締役COO兼CFOを経て現任。
一般社団法人ホームプロデューサー&アテンダント協会代表理事を兼任。
経済産業省「家事支援サービス協議会」委員。

2016年に、カンボジアのシェムリアップで菓子類の製造と販売を行うアンコールクッキー(Angkor Cookies KH)に出資を行い、東南アジアでの投資活動を開始。同時に同社CEOを務め、カンボジア人材のマネジメント経験を有する。カンボジア人材は今後の日本の労働力不足を補う最良のパートナーであると確信し、彼らのパワーを地方のエネルギーにすべく、人材の戦力化・定着化のための事業を開始する。趣味はトライアスロンと食べ歩き。世界38か国を旅し、走り、美味しいものを食べる日々。

〈水戸一高 平成3年卒〉

ワンタイフーズ社(タイ)マーケティング・商品開発・海外事業・財務担当取締役
慶応義塾大学文学部卒業。商学部村田ゼミ出身。
高校時代はバスケット部所属(3年時キャプテン)

1997年、味の素株式会社入社。2003年より4年間、ウエストアフリカンシーディング社(ナイジェリア)出向。販売部長として市場開拓を担う。海外食品部を経て、2010年より5年間、インド味の素社出向。開発・マーケティング部長として新規事業開発に携わる。2016年よりワンタイフーズ社(タイ)出向。現在に至る。現地および本社において、主に新興国での新規事業立ち上げ、新商品開発、ブランドマーケティングなどを手掛け、海外赴任は13年に及ぶ。現在は、味の素グループ最大のインスタントラーメン会社において、タイ国内事業および世界50か国への輸出事業を管轄し、現地の嗜好に合わせた新商品開発、マーケティング業務を行う。「美味しいもの」でいかに世界中の人々を笑顔にできるか、現地スタッフとともに奮闘する日々。趣味はマラソンと読書。あとは、食べて、飲んで、笑うこと。